



FIWA 代表理事リレー投稿
「気になるあの人、あのこと、ひとこと話 Vol.2」
川元 由喜子さん



寄稿: FIWA 協会
副理事長 岩城 みずほ

あっという間に師走ですね。みなさまいかがお過ごしでしょうか。「気になるあの人、あのこと、ひとこと話」、今回は「経済に強いママを増やす会」、通称「経ママ」を主宰する川元由喜子(かわもとゆきこ)さんです。「お母さんは経済に興味がないという世の中の通説を変えたい」という思いで2010年から始めた活動もまもなく10年を迎えます。

<https://keimama822.jimdofree.com>

「お母さん同士の集まりで経済の話をするとなんとなく浮いてしまう…」

私にも覚えがあります。ママたちが経済に興味がないわけではないと思うのですが、ママの集まりでの話の中心は子供のこと夫のこと。最近は働くママが増えたので少し変化しつつあるかもしれませんが、私も子供が小さい時のママ友とのランチで経済の話はしませんでした。

「お母さんだって経済の話題で盛り上がったっていいと思いませんか？お母さんは経済に興味がないというのが世の中の常なんですよ」と川元さん。

川元さんをご存知の方には、あの歯切れのよい口調、聡明な彼女のお顔が思い浮かぶと思います。





長期投資仲間通信「インベストライフ」

川元さんは無理のない範囲でママ友たちに声をかけ、自宅でのサロン形式で経ママをスタートしました。私も途中からお手伝いさせていただいているのですが、HPの活動記録を数えてみたら47回に上ります。残念ながらこのコロナ禍で休止中ですが、ママ同士で毎回がつり金融経済の話をしてまいりました。時事的なネタも多かったです。最近ならばアメリカ大統領選について大いに盛り上がったでしょう。川元さんはNYに赴任されていたご経験もあるので、きっと面白い論点でお話が聞けたのではないかと思います。

さて、この経ママのユニークさは、いかに家計をうまくやりくりするか、どう投資をしていくかというような実用的な話にとどまらない点だと思います。それは川元さんの思いの中心に、「経済をもっと身近に感じてほしい。経済が生活に密着しているのだということを知ってもらいたい」ということがあるからです。

金融機関で日本株の運用をされていた川元さんだからこその「株式のことを正しく理解してほしい」という強い思いです。運用を知り尽くしていらっしゃるので、噛み砕いた生活者目線でのお話が聞けます。

「株式投資は何を買っているのか。株式投資は表面的な数字を買っているのではなく価値を買うもの。価値は事業活動から生じています。投資は事業資金を調達するために存在し、企業は活動できる。株式は資金調達をするためにある。値動きに賭ける投機とは別物です」
株式について理解することこそが投資の基本だとおっしゃいます。

■経済通のママに

経済に強いママがもっと増えたらどんなことが起こるのでしょうか。
「リーマンショックのあと、誰もが金融はだめだよねと思っていたのに、大学生の希望就職先の上位は変わらず金融機関。母親の「安定指向」の刷り込みが利いているのでしょう」。

「キャリアス就活2021」というサイトを見てみると、依然金融機関は上位のようです。このコロナ禍でこうした志向も変化する可能性もありますが、時代の移ろいに反してそれほどには、食卓での会話は変化してはいないようです。

https://job.career-tasu.jp/2021/guide/study/ranking/2_4.html

もちろんそれが悪いと言うことではありません。しかし川元さんがしばしばおっしゃることに、「子供に直接話しかける機会は母親が一番多い。ママが経済通なら、子供により良い影響があるのでは」ということがあります。

ニュースを見ながら、あるいは送られてきた株主優待の品をいただきながら、食卓で子供に経済の話ができるママが増えると、子供の視野は大きく広がるのではないのでしょうか。人生100年時



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

代、より長く働くことになる子供たちには、安定志向よりも他に育ててほしい視点や感性があるように思います。

■お金の話は難しい

また、川元さんはお子さんに「お金は嘘ついたりごまかしたりしないで正直に扱いなさい」と言い続けてきたそうです。

今の時代、犯罪に巻き込まれたり、意識しないままに加害者になったりするケースも少なくないからです。ゲームの世界はバーチャルですが、子供にとってはリアルな世界。トラブルも少なくありません。このコロナ禍で給付された定額給付金をめぐっては詐欺も発生したと聞きます。加害者側には普通の大学生も多くいたそうです。軽く声をかけられ、あいつがやっているなら自分も、と抵抗なく加担してしまう。

「騙す側にまわったらおしまいです。ネット社会では簡単に巻き込まれてしまう恐ろしさを非常に感じます。お金は真面目に働いて得るものです。うまく稼げるなどと思ってもらっては困る。簡単に儲かることはありません。美味しい話はないという基本を教えなくてはならないと強く思います」

子供への教育を担うのは親です。時代が変わってもこの大原則は変わりません。経ママは子育てをしながらでも楽しみながら勉強できる場所として存在してきました。コロナによってリアルなコミュニティを継続するのが難しい状況で、今後どのように展開していくか相談中です。これからも「経済に強いママ」を増やすために活動していきたいと思っています。

川元由喜子(かわもとゆきこ)さん

1985年日興証券入社、日興インターナショナル(NY)などを経て HSBC投信投資顧問 日本株運用部長。2003年から数年間子育てに専念。2009年～16年ありがとう投信。現在フリー。2010年に「経済に強いママを増やす会」を発足。フォスターフォーラム(良質な金融商品を育てる会)理事。2018年より(株)カワニシホールディングス社外取締役。